

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
158

発行 2018年6月

第1回定例会議決結果一覧
第1回臨時会議決結果一覧
議会の動き
一般質問ダイジェスト
研修会・視察研修
キラリいぜなっ子 ザ・学生II

2
3
3
4~6
7
8

旬の花



オヒルギ

北部地域の道路網の整備促進並びに
離島架橋の早期実現に向けた決起大会

やんばるはひとつ

てい
いち

てい
いち

北部地域の安心・安全な道路網の確保と離島架橋による振興発展を目的に、5月2日(水)名護市民会館において、北部12市町村が集結し、決起大会が行われた。



平成30年第1回伊是名村議会定例会・議決結果一覧

平成30年第1回伊是名村議会定例会は、3月12日から15日までの4日間で開催された。本定例会に提案された議案は25件で、うち報告1件、同意2件、追加日程3件で、一般質問には2人の議員が登壇し村政について質問した。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議案等の概要	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について	沖縄県市町村総合事務組合規約の変更に伴う専決処分の報告	報告
議案第1号	伊是名村国民健康保険条例の一部を改正する条例	伊是名村国民健康保険条例の一部改正	原案可決
議案第2号	伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	伊是名村国民健康保険税条例の一部改正	原案可決
議案第3号	伊是名村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	伊是名村後期高齢者医療に関する条例の一部改正	原案可決
議案第4号	平成29年度伊是名村一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出それぞれ65,135千円を減額し、総額をそれぞれ2,621,253千円とする。	原案可決
議案第5号	平成29年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	総額をそれぞれ286千円とする。	原案可決
議案第6号	平成29年度伊是名村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ1,710千円を追加し、総額をそれぞれ14,093千円とする。	原案可決
議案第7号	平成29年度伊是名村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ2,300千円を減額し、総額をそれぞれ57,850千円とする。	原案可決
議案第8号	平成29年度伊是名村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ1,400千円を減額し、総額をそれぞれ48,740千円とする。	原案可決
議案第9号	平成29年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ9,424千円を減額し、総額をそれぞれ408,773千円とする。	原案可決
議案第10号	平成29年度伊是名村育英事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ236千円を減額し、総額をそれぞれ8,029千円とする。	原案可決
議案第11号	平成30年度伊是名村一般会計予算	歳入歳出それぞれ2,531,220千円と定める。	原案可決
議案第12号	平成30年度伊是名村国民健康保険特別会計予算	歳入歳出それぞれ212,030千円と定める。	原案可決
議案第13号	平成30年度伊是名村後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出それぞれ13,664千円と定める。	原案可決
議案第14号	平成30年度伊是名村簡易水道事業特別会計予算	歳入歳出それぞれ203,411千円と定める。	原案可決
議案第15号	平成30年度伊是名村農業集落排水事業特別会計予算	歳入歳出それぞれ279,100千円と定める。	原案可決
議案第16号	平成30年度伊是名村港湾整備事業特別会計予算	歳入歳出それぞれ9,338千円と定める。	原案可決
議案第17号	平成30年度伊是名村船舶運航事業特別会計予算	歳入歳出それぞれ412,373千円と定める。	原案可決
議案第18号	平成30年度伊是名村育英事業特別会計予算	歳入歳出それぞれ7,590千円と定める。	原案可決
議案第19号	辺地総合整備計画の変更について	辺地に係る総合整備計画の一部変更	原案可決

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
同意第1号	教育委員会委員の任命について	西正幸氏の任命について	同 意
同意第2号	教育委員会教育長の任命について	名嘉正氏の任命について	同 意
追加日程第1	議長の辞職の件	前川清氏の議長辞職について	許 可
追加日程第2	議長の選挙	議長の選挙について	当選人 前田 清氏
追加日程第3	副議長の選挙	副議長の選挙について	当選人 宮城安志氏

平成30年第1回伊是名村議会臨時会・議決結果一覧

平成30年第1回伊是名村議会臨時会は、3月26日の1日間で開催され、議案1件が提出された。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
議案第20号	工事請負契約について	目的：伊是名山森林公園管理道整備工事(H29) 契約の方法：指名競争入札 契約金額：52,650,000円 相手方：(株)高宝建設 代表取締役 高良泰司	原案可決

議会の動き

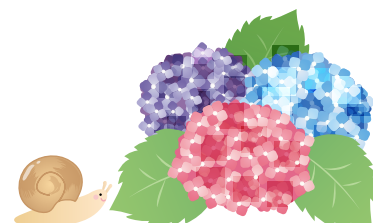
平成30年3月～5月

3月 6日(火) 議会運営委員会
10日(土) 中学校卒業式 伊是名中学校
12日(月) 第1回定例会(～15日(木))
17日(土) 平成30年北部広域市町村圏事務組合議会
第51回定例会 (議長) 北部会館
北部市町村議会議長会 第4回定例総会
(議長) 北部会館
18日(日) 土帝君(トートク) 諸見区・勢理客区
19日(月) 小学校卒業式 伊是名小学校
24日(土) 伊是名郷友芸能協会 第3回定期公演
沖縄コンベンションセンター
26日(月) 第1回臨時会

4月 2日(月) 教職員歓迎会 産業支援センター
3日(火) 公事清明祭 国指定重要文化財「玉御殿」
9日(月) 伊是名中学校入学式 伊是名中学校
10日(火) 伊是名小学校入学式 伊是名小学校
21日(土) 伊是名村環境プロジェクト 臨海ふれあい
公園グラウンド
27日(金) 沖縄振興拡大会議 (議長・局長) 自治会館

5月 2日(水) 北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋
の早期実現に向けた決起大会 名護市民会館

北部市町村議会議長会第1回理事会・定例総
会(議長・局長) 北部会館
11日(金) 平成29/30年期・さとうきび収穫祭 (議
長・局長) 産業支援センター
18日(金) 沖縄県土木建築部長 表敬訪問 (議長・局
長) 沖縄県庁
19日(土) 第69回沖縄県植樹祭 (議長) 道の駅ぎのざ
観光拠点施設
23日(水) 伊是名村商工会 第30回通常総会 (議長)
産業支援センター
28日(月) 町村議会議長・副議長研修会 (議長・副議
長・局長) 東京国際フォーラム
29日(火) 北部市町村議会議長会 県外視察研修
(～30日(水)) (議長・局長) 青森県
31日(木) 伊平屋・伊是名間の離島架橋の早期事業化に
関する要請行動 (議長・局長) 東京都





Q 漁港整備に係る 土砂の処分について



すえよし みつよし
末吉 實好 議員



視察の様子（勢理客区屋ノ下原）

Q 末吉實好議員

伊是名漁港（勢理客地区）における補完バースの工事が着手され、村民の生活航路であるフェリーの安定的な運航につながるものと期待している。平成29年第1回定例会におい

て工事から発生する浚渫土砂の件が質問され、38万立方メートルという膨大な量の土砂を処分する検討を行うとあったが、その後の具体的な取り組みについて伺いたい。

次に、場外離着陸場の周辺を

土砂の処分地として埋め立てれば、将来的にも有効活用ができるものと考えているが、そのような取り組みがないか村長の見解を伺いたい。

A 前田政義村長

県当局と処分方法について検討した結果、当面、概算ではあるが、護岸背後地に10万立方メートル、那覇空港滑走路建設現場に10万立方メートル、そして残りの18万立方メートルは村内で処分する予定。平成29年度予算において護岸の背後地に6万2000立方メートル、那覇空港滑走路建設現場に3万3000立方メートルを処分することになっている。

2点目の屋ノ下原の有効利用については現在、モーターボートの開催場として利用されている場外離着陸場を含めて屋ノ下原全体をモーターボーツやパークゴルフ場等を盛り込んだ屋ノ下原スポーリア일랜드構想を進めており、基



本計画策定業務を実施したところである。地域資源を有効活用するという観点からも補完バース整備事業に伴う浚渫土砂を屋ノ下原一帯に埋め立てて有効活用し、かつ屋ノ下原スポーリア일랜드事業の実現に向け取り組んでいきたい。

Q 末吉實好議員

村では滑走路部分を賃貸契約で使用している。これも含め屋ノ下原全体の用地買収構想がないか、また集落説明会、あるいは村民への説明会の



視察の様子（伊是名漁港）

予定があるか伺う。

A 前田政義村長

屋ノ下原地区には村有地、法人、そして個人有地と、合わせて295筆、村有地を含めると303筆ある。現在、私共が

買収をする価格設定につきま

しては、約1億1256万5千

円程度かかるだろうと想定を

している。法人を含めた個人有

地につきましては、将来的な観

点から村有地にするため買収

を進めなければならないと考

えており、その計画の財源につ

いてもある程度見込みを立て

て進めている。詳細につきまし

ては、農林水産課長の方から答

弁させる。

A 諸見直也農林水産課長

住民説明会に先立ち、ま

ずは勢理客区長と区の有志、行

政委員に説明を行い、次に住民

説明会、さらに郷友会の皆様な

どに説明会を行いたいと打診

している。区長からは、3月中に

開催できるよう調整をするこ

の回答を得ている。

それから先ほどの土地の件

は、個人有地で約17ヘクタール

余り、法人が約1・5ヘクタール

ほどあり、その分が買収用地

に含まれることとなっている。ち

なみに村有地は5ヘクタール余

Q 末吉寛好議員

屋ノ下原一帯を購入する場合の単価はどうなるか。また、墓地が存在しているがどう

対応していくのか。

A 諸見直也農林水産課長

現況は殆ど原野となっ

ているので原野単価、平米61

0円の買い取り価格で予定。墓

地については2基あり、移設費

用等に係る分についても交渉し

ていきたいと思っている。

Q 末吉寛好議員

対岸にある明地原農村公園の海浜について、以前に質

問した離岸堤の取り扱いについ

て進捗状況を知りたい。

A 諸見直也農林水産課長

設置されている現在の

状況のまま補完バースを整備

し、完成した後にフェリーの航

行や旋回時の波浪を見極めな

がら判断することを協議して

いる。事業予算や取り扱いにつ

いても漁港の整備を進めなが

ら同様に協議していきたい。



ドラッグレース大会の様子



Q 伊是名・伊平屋間の 渡船運賃助成について



みやぎ やすし
宮城 安志 議員



伊平屋・伊是名架橋海上パレードの様子

Q 宮城安志議員
昨年9月9日に伊平屋・

伊是名架橋早期実現総決起大会と海上パレードが実施された。架橋建設促進に向けて両村民の交流を活発にすることが大切だが、伊平屋村の祭りやムーンライトマラソン大会等、伊平屋村で行われるイベントの際、伊是名村から参加する方々の渡船運賃を助成する考えはないか。

A 前田政義村長
架橋建設と伊平屋空港

建設については、両村民が交流

を活発化し、意思疎通を図っていくということが重要。渡船料の助成については、単にイベント等に限らず、両村民が常日頃、渡船を利用する際も含めて行政間同士が互いに意思疎通を図り、共通課題として伊平屋村側の意向も聞きながら、両村で検討する機会を設けたい。

A 神山利和企画政策課長
昨年の伊平屋・伊是名

架橋早期実現総決起大会と海上パレードは、村内外に発信でき、架橋建設促進に繋がったと考えている。

両村の村民の中では、まだお互いの島に行く機会が少ない。そこで架橋建設促進協議会の交流事業として海上パレードに次ぐ新たな交流イベントを計画し、お互いの島を知る機会を作ることで、架橋建設の促進に繋がろうと考えている。

また、渡船運賃の助成については、先程、村長が答弁したとおり、両村の話し合いの中で、こ

れから検討してまいりたい。

Q 宮城安志議員
イベント、それに限らな

い運賃助成とは、ムーンライトマラソン大会や、祭り以外にどのような事態を想定しているのか。イベント以外に渡船運賃を助成したいとお考えか。

A 神山利和企画政策課長
イベント以外とは、架橋

建設促進協議会の事業の中で、お互いに交流できるようなイベントを考えている。

Q 宮城安志議員
架橋建設促進に向けて、

いろいろ活動する上でも、ぜひとも渡船運賃を助成していたきたい。両村民が架橋について同じ思いで向かい合う。そういう土壌を作っていくのが肝要。

村長の施政方針の中に架橋建設促進協議会を中心に関係機関に要請等を継続的に実施するとあるが、具体的に今年はどういう要請をするのか。

A 前田政義村長
伊平屋・伊是名架橋建

設につきましては、県当局は当初、総事業費が700億円かか

るだろうという概算だったが、その後、県において2カ年度に渡って可能性調整と地質調査を行ったところ、現在では総事業費が700億円から515億円に大幅に縮小されている。また、県内の大型事業が2020年度には、ある程度完成するだろうという予測をしている。伊平屋・伊是名架橋建設については、私たちは2020年度を目指して建設要請に向けて進めることが一番と考え、県知事に多方面から要望活動が続けられていると考えている。

Q 宮城安志議員
渡船の運賃助成の予算

は具体的に考えているか。

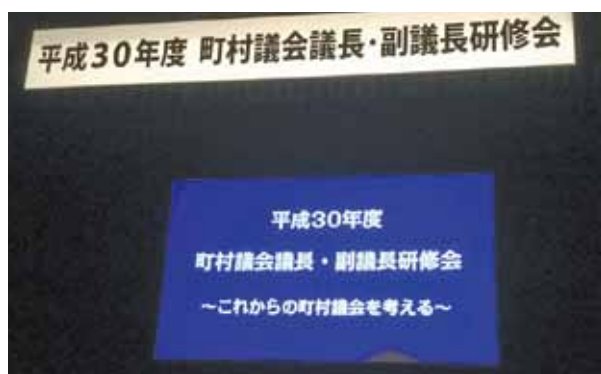
A 神山利和企画政策課長
渡船の助成につきまし

ては、伊平屋村側との調整が重要。調整しながら、今後どのような形でできるのかという事を検討しないといけない。

平成30年度 町村議会議長・副議長研修会 (全国町村議会議長会・東京国際フォーラム) ～これからの町村議会を考える～

全国町村議会議長会が5月28日(月)に東京国際フォーラムにおいて全国の議長・副議長を対象とした研修会を開催しました。

研修会では、今日の議員のなり手不足や議員活動に対する適正な報酬の設定を提言するための検討委員会から中間報告が「町村議会議員の議員報酬等のあり方」と題して全国町村議会議長会の検討委員長を務める山梨学院大学法学部の江藤俊昭氏により行われました。研修会では統計資料が提示され、現状の報酬額では低いと答えた意識調査の結果が56.8%、適正が31.7%など(速報値)、報酬額の設定に対する全国標準の検討が進んでいることが報告されました。



議会議員の報酬等については、各市町村の条例で定められており、地方自治として各市町村独自に報酬額を設定しております。最終報告については、まだまだ時間を要するようです。

「町村議会のあり方」に関する研究報告では、議会側の目線と住民側の目線で正の連鎖、負の連鎖とした表で紹介し、①少子高齢化や人口減少の課題、②地方分権改革による地域経営の自由度、財政危機による選択と集中、③国・地方の政治・行政への対応が事例を紹介されました。

第二部においては、町村議会特別表彰を受賞された事例報告があり「議会の権能の使い道と議会の立ち位置の有効活用～小さな町議会の小さな挑戦～」として長崎県小値賀(おちか)町、「住民に向き合った議会運営と広報誌づくりを实践」として福岡県大刀洗(たちあらい)町「議会活性化への取り組み～住民から期待される議会を目指して～」として徳島県那賀(なか)町からそれぞれの取り組み状況の報告がなされました。

それぞれ特色のある活動内容で、各町村議会の運営に資する有意義な発表であったものと研修を終えた感想として報告します。

議長：前田 清、副議長：宮城安志

北州市町村議会議長会 ～岩木町健康増進プロジェクト～

青森県
弘前市
旧岩木町地区

全国町村議会議長・副議長研修会から引き続き北州市町村議会議長会による視察研修が東京から始まりました。目的地は青森県弘前市の旧岩木町地区です。

今回の視察目的は、日本一の短命県である青森県が産学

官の連携のもと健康の維持・増進、寿命の延長を目指して取り組んでいる岩木健康増進プロジェクトを勉強するため行われました。

プロジェクトを率いるのは弘前大学大学院医学研究科特任教授である中路重之氏で、平成25年文部科学省から革新的イノベーション創出プログラム「COI STREAM」(センター オブ ヘルシー エージング イノベーション：革新的「健やか力」創造拠点)の採択を受け、最新科学による健康長寿社会を目指し実施しています。

青森県総合健診センターにおいて基本的な健診項目に加え、個人の生活状況に関するデータ、労働環境など2,000を超える項目の健診ビッグデータから認知症や生活習慣病の予防に向けたデータ解析等を行い予防対策による発症リスクの低減などを目指しています。

健診センターでは、大学生が問診やサポート、企業から機器の提供や独自の調査研究、行政側の保健指導等、住民一人当たりの健診時間は5～7時間に及ぶそうですが、住民の健康に対する意識も変化しているようです。

研修会終了後は、現地視察が行われ田舎館(いなかだて)村の石アート(田んぼアートが有名ですが、植え付け時期でした。)弘前城がある弘前公園を散策し日程が終了。夜は、中路先生を囲み津軽三味線の音色と共に懇親会が開かれました。中路先生は、11月頃に名城大学において講演会も予定されているようです。

視察研修を終え一路東京へ戻り、もう一つの目的である要請行動を行いました。去った5月2日に行われた北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会で決議された「伊平屋・伊是名間の離島架橋の早期事業化に関する特別決議」について、沖縄県選出国会議員の皆様に北州市町村議会議長会として要請いたしました。国土交通省と内閣府にも同様の要請を行う予定でありましたが、青森空港出発便の遅延により中止となり、島尻安伊子内閣府大臣補佐官が伝達しております。

以上、北州市町村議会視察研修及び要請行動について報告とさせていただきます。

伊是名村議会

議長：前田 清、事務局長：濱里 篤



長寿ランキング データ

平成22年(2010年)				
	男	順位	女	順位
全国平均	79.59	—	86.35	—
沖 縄 県	79.40	30 位	87.02	3 位
青 森 県	77.28	最下位	85.34	最下位

平成27年(2015年)				
	男	順位	女	順位
全国平均	80.97	—	87.01	—
沖 縄 県	80.27	36 位	87.44	7 位
青 森 県	78.67	最下位	85.93	最下位

キラリ★
いぜなっ子
ザ・学生Ⅱ
vol.15

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、近隣学校単位で掲載することになりました。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立嘉手納高等学校・沖縄県立北谷高等学校・沖縄県立美里工業高等学校に通う皆さんです。

沖縄県立嘉手納高等学校（3年生）

奥間 太陽くん（内花）

沖縄県立北谷高等学校（3年生）

島袋 龍大くん（勢理客）

沖縄県立美里工業高等学校（3年生）

兼元 穂香さん（伊是名）



奥間 太陽くん

「子どもが好きなので幼稚園の先生になりたい」
保育園の先生を務めていたお母さんの影響を受けた太陽くんの夢は明確に決まっていたようです。
「親戚の小さい子たちの面倒をみることも好きだったし、保育系の勉強ができる県立嘉手納高校を選びました」と迷いのない

表情を見せる太陽くん。

「嘉手納高校では総合学科保育系に入り、保育園実習や折り紙、絵本の読み聞かせなどを学び、部活動ではラグビー部に所属して仲間たちと汗を流しています」と充実した学校生活を語ってくれました。卒業後の進路は専門学校もしくは大学へ進学し、夢を叶えたいと考えているようです。

伊是名の後輩へのメッセージとして「友人をつくるのが早く馴染めるコツだと思っています。恥ずかしがらずに積極的に話しかけてほしい」と笑顔で話してくれました。



島袋 龍大くん

北谷高校を選んだ理由を訊ねると「姉が通っていたということ、当時通っていた実家から近かった

から」と正直に答える龍大くん。

学校生活について聞いてみると「最初はまったく知り合いがいなくて不安だったのですが、部活動などを通じてだんだん楽しくなってきました。今では部活動や体育の授業で友人たちと話をしているのが一番楽しい」と笑顔で話します。

卒業後の進路について聞くと就職を考えています。2年生の時にインターンシップを通じてデパートで商品陳列などを手伝ったのですが、とても楽しく疲れを感じませんでした。将来は販売系の仕事に就きたい」と頼もしい表情で語ってくれました。



兼元 穂香さん

「島にひとつだけある人気のケーキ屋さんに憧れ

て調理の道に進みたいと考えてました」

製菓の道を志した穂香さんでしたが、調理科での専門知識の多さに戸惑うこともあったそうです。

「調理技術だけではなく、原価計算や店舗のレイアウトなど運営に係ることを学ぶので勉強が大変です」

卒業後の進路について聞くと「最初は製菓に興味があつて入学したのですが、学びを進めていくうちに管理栄養士の道を志すようになってきました。夢を叶えるために進学して資格を取得したいと思っています」と希望いっぱい話します。

伊是名の後輩へのメッセージをお願いすると「生徒会活動はおすすめです。生徒たちの前で話す機会があるので、人前で話す能力が磨かれると思います」としっかりとした口調で島の後輩への思いを話してくれました。

編集
後記

村民の皆さまこんにちは。梅雨というのに雨が少なく、農作物や夏場の水不足が気がかりです。

今回のキラリ☆いぜなっ子 ザ・学生Ⅱでは、3人の高校生がしっかり自分の思いを話してくれました。今後も学生達の『生の声』を皆さまに

お届けできるよう頑張っていきます。

これから夏本番です。熱中症などに気をつけて、健康に留意されてお過ごし下さい。

次号も楽しい誌面をお届けしたいと思っておりますので、乞うご期待下さい。

広報調査特別委員会委員長 東江克伸